

写真：第二堅坑ヤグラ

世界遺産登録は 荒玉の誇り

万田坑は平成27年の世界文化遺産登録を目指しています。万田坑が世界遺産になることで、多くの人に炭鉱の歴史を知ってもらえるだけでなく、世界中からお客様を迎えることとなります。万田坑見学後、近隣の市町にも立ち寄っていたことで、荒玉地区全体の経済活性化が見込まれると考えています。

近なところに先人たちが築いてきた宝を見つけることができるはず。日本の近代化や炭鉱で生きた人たちの営みを伝える地域の宝が世界の宝になる日は、すぐそこまでやって来ている。世界遺産が荒尾市にあるということは、人の行き来など荒尾市と密接な関わりがある荒玉地区の誇りでもあると思います。世界遺産登録には地元の人熱意はもちろん、荒玉地区の皆さんの応援が不可欠です。荒尾の宝、ひいては荒玉の宝が世界の宝になるように頑張りますので、応援よろしく願っています。

有明広域行政事務組合 代表理事
荒尾市長 **前畑淳治**

世界遺産がもたらすもの

平成9（1997）年に三井三池炭鉱は閉山を迎えました。現在、万田坑には、第二堅坑ヤグラや巻揚機室などが保存され、当時の優れた炭鉱の技術と日本の石炭産業を知るための重要な資産となっています。ぜひ、一度足を運んで、炭鉱の歴史に触れてみてください。

今後は、ことしの秋に行われるユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査などを経て、平成27年の世界遺産委員会での世界文化遺産登録を目指します。

万田坑が世界遺産登録を目指す今、改めて荒玉地区にある史跡を見直してみませんか。近隣市町の史跡を知った上で、自分のまちの史跡を見てみると、見えてくるものも変わってくるはずです。いつもと違うまちな姿を発見できることこそが、万田坑の世界遺産登録がもたらしてくれる一番の宝なのかもしれません。



教員
清田美和さん（玉東町）

まず目に飛び込んできたのが第二堅坑ヤグラと第二堅坑巻揚機室。赤レンガが印象的で圧巻でした。世界に誇れる宝が荒尾に存在することは、素晴らしいことだと思います。



元三井鉱山社員
池上和昭さん（南関町）

私は2年ほど万田坑で残務整理をしていました。そこで働いていた先人のことを伝えるためにも、世界遺産に登録されてほしいと思っています。



会社員
前田英里さん（長洲町）

映画『るろうに剣心』に万田坑が登場し、よく知る場所が大好きな作品で使用されたことがとてもうれしかったです。これを機に荒玉地域が活気づいてほしいです。